

# 5

千代田区景観まちづくり重要物件

## 法曹会館

指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

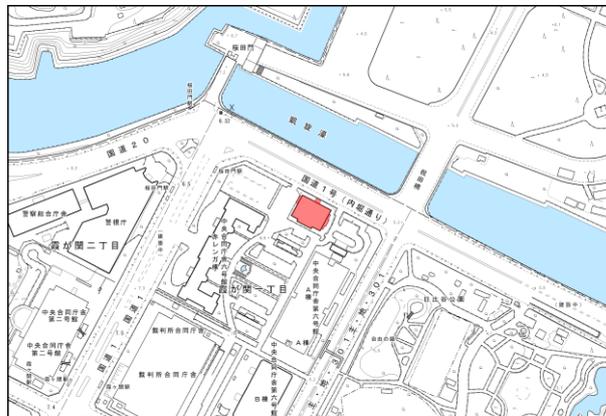
所在地 霞が関一丁目 1 番 1 号

設計者 三菱合資会社地所部（藤村朗）

竣工 1937（昭和 12）年

文化財等  
指定状況

-



▲対岸の歩道から見た法曹会館

## 歴史・文化的特徴

財団法人法曹会は 1891（明治 24）年 9 月に法律研究の任意団体として発足した団体です。

法曹会館は、司法界の社交場として建てられました。

## 意匠・構造の特徴

お濠端という場所にふさわしい、静謐な趣を生み出すよう配慮された倶楽部建築となっています。

尖塔屋根のある塔屋や正面にはめ込まれたステンドグラス、瀟洒な車寄せなどが特徴です。

全面に薄いグレーのタイル貼りで、両側に尖塔屋根のある塔屋のあるシンメトリーな正面ファサードとなっており、中央に車寄せがあります。外観は教会を思わせるようなアーチ窓のおとなしいデザインですが、内装は正面にステンドグラスがはめ込まれてあり、深紅の絨毯が敷き詰められた階段など、昭和レトロの雰囲気を感じさせるものとなっています。

## 周辺景観との関係

司法関係機関が集まる霞が関 1 丁目 1 番の街区の一角に位置しています。

西側には、1895（明治 28）年に完成した赤レンガの法務省旧館（重要文化財）があります。

皇居の堀に向かい合うことを意識して、変化に富んだファサードがデザインされています。司官庁街の巨大で堅苦しいビル群の一角に、勾配屋根、住宅スケールの心和む景観を与えています。